●アイヌを感じる 10.30sat 13:30～15:30

アニメーションとトークセッションで、あなたをアイヌ文化の世界へ。

『七五郎沢の狐』 創作神話 カムイユカッショートアニメーション

監督　杉原由美子　原作・版画　結城幸司　企画製作　tane project　制作　七五郎沢の狐制作委員会
15min/2010/日本

―森のない　沢のない　ゴミの埋まった大地に　命の続くわけがない
と悲しい想いをもった　七五郎沢の狐のカムイが　語りましたとさ―
東山に生まれ東山に育った狐。この沢の四季と共に彼らは生きていた。しかし人間たちの行いにより
そこは以前のような美しさを失い…。自然と共に生きていくことを教えてくれるショートアニメーション。

トークセッション

アート×アイヌ文化×地球環境。「七五郎沢の狐」の原作者と北大教授が、アイヌ文化を語る。

GUEST

結城 幸司(ゆうき こうじ)

1964年釧路市生まれ。アイヌ・アート・プロジェクト代表。「先住民族サミット/アイヌモシリ2008事務局長。2000年にアイヌ・アート・プロジェクトを設立。現在は版画家としても活動しており、芸術を通してアイヌ文化の復興と提場活動を行っている。

小野 有五(おの ゆうご)

1948年東京生まれ。北海道大学大学院地球環境科学研究院統合環境科学部門 広領域連携分野 教授。市民団体「北海道の森と川を語る会」の代表もつとめる。地形学的研究による北海道の自然保護への貢献により、北海道2001年第1回沼田眞賞(日本自然保護協会)を受賞。

他にもアイヌ・アート・プロジェクトのメンバーによるコンサートも開催!

●北大ガイアプロジェクト×北大映画館プロジェクト特別上映 10.31sun 13:00～16:45

『地球交響曲第七番』&『森と水の庭・ウトナイ』上映会 ～Think GAIA Act UTONAI～

2010年公開のシリーズ最新作「ガイアシンフォニー第七番」。苫小牧の豊かな自然に焦点を当てた「森と水の庭・ウトナイ」。地球規模で自然環境を考え、身近な環境から行動しましょう。その間を「感じる」のは観に来て下さった皆さんです。

「地球交響曲第七番」(ガイアシンフォニー)

監督　龍村仁　出演　アンドルー・ワイル(統合医療医学博士)、高野孝子(環境教育活動家)、グレッグ・レモン(ツールド・フランス覇者)
126min/2010/日本

地球交響曲「第七番」は、母なる星GAIAからミクロのバクテリアまで、この世の全ての生命体が、その内部に秘めている生命の叡智・自然治癒力の、健やかな発言を願い、祈る作品にしたい、と考えています。(龍村仁)

「森と水の庭・ウトナイ」

監督　北川陽稔(Visual Activities)　出演　丹治一三、草刈健(苫東環境コモンズ)、石田守雄(ウトナイ湖鳥獣保護センター)、相原正雄(苫東・和みの森運営協議会)、辻博香(Official Rera)、浅野峻太郎、川本樱桃ほか
45min/2010/日本

この映画は、ウトナイ・勇払の豊富な自然環境のイメージと、それを活かし、次代を模索する取り組みを行う人々の活動のルポルタージュ映像で構成されます。「生活のための森」、「人々の心のための森」、そして「ただそこにある森」。森と人の多面的な関係を描きながら、森や地球環境の本質を伝えます。(北川陽稔)

GUEST

龍村 仁(たつむら じん)

映像作家。NHKに勤務して先駆的なディレクターとして知られるようになった後、フリーとして独立。「シルクロード幻視行」、「宇宙船とカヌー」、シリーズ「地球交響曲」など数々のドキュメンタリー作品を生み出し、様々な賞を受賞。「地球交響曲」シリーズは、それ自体が生命体である"地球"の将来に優れた洞察力で目を向ける世界各国の多様な賢人達を描いた映画です。

北川 陽稔(きたがわ あきとし)

東京にて映像作家として活動し、短編映画の制作等を行う。作品はAnn・Arbor Film Festivalにおいて入選、調布映画祭にて入賞。近年は映像ディレクターとしての業務に携わる傍ら、北海道のラムサール条約登録湿地「ウトナイ」と、その周辺地域に長期滞在し、写真やドキュメンタリー映像に取り組む等、北海道のランドスケープに関する様々なビジュアル作品を制作・発表する。

●松井久子監督講演会 11.2tue 18:15～19:15

入場無料!

「月よりも遠くへ ～日米往復52000キロ・映画『レオニー』完成までの7年～」

監督×学生 対談:希望なき時代の「希望」

松井 久子(まつい ひさこ)―映画監督・脚本家・プロデューサー

1946年岐阜県飛騨生まれ、東京深川育ち。雑誌の編集者・ライター、俳優マネージャー、テレビ番組プロデューサー業を経て、1998年、「ユキエ」で映画監督デビュー。2002年の監督第2作「折り梅」が2004年春に観客動員が100万人を超えた。同年12月には、初めての著作となる「ターニングポイント～「折り梅」100万人をつないだ出会い」(講談社)を発表。第3作は、彫刻家イサム・ノグチの母親レオニー・ギルモアの生涯を描いた日米合作映画「レオニー」。約7年にわたり企画・資金集めを行い、2009年にクランクイン、2010年春に完成。日本では2010年11月20日より、角川映画配給にて全国ロードショー。

松井監督作品『レオニー』 11月20日(土)　札幌シネマフロンティア・旭川シネプレックス他 全国ロードショー
配給:角川映画 (シネボックス+ハピネット2社提携)　※CLARK THEATER 2010では上映しません。

●Hokkaido Univ. Special

北海道大学オリジナル映画第29弾!

10.30sat 16:30～18:00
11.2tue 19:45～21:15
11.3wed 10:30～12:00

前作「銀杏の樹の下で」(メキシコ国際映画祭最優秀外国語賞受賞)に続き、北海道大学・冬を舞台にしたラブストーリー。中谷宇吉郎(元北海道大学教授)氏の「雪は天から送られた手紙である」をモチーフに、島田英二が再びメガホンをとった。

TICKET ※チケット料金が異なります。

前売 ¥700　当日 ¥800

前売り券購入のお客様から抽選で50名様に
雪の結晶型 紙石鹸「初雪」プレゼント!

北大元気プロジェクト2009採択企画作品

『零下15度の手紙』

脚本・監督　島田英二
特別協賛　GUARANA RECORDS
製作・著作　北大ショートフィルム製作委員会

雪の研究をしている沙十美と恋人の貴仁
幸せな日常は、貴仁が突然の交通事故で昏睡状態になりー変する
回復を一途に願いながら、沙十美は貴仁へ手紙を書いた
病室の壁に貼られた手紙はやがて一面に広がり
いつしか病院内ではこう囁かれた
「あの手紙が100枚になったら目を覚ます」

WEBでCM公開中!
http://www.hokudai-film.com/

GUEST

脚本・監督　島田英二

1976年釧路市生まれ。北海道大学を卒業後、南カリフォルニア大学で映像を学び、帰国後に札幌を拠点として映像作品を製作。代表作「6:00PM」(2003)「銀杏の樹の下で」(2008)など、国内外多数の映画祭で受賞や入選を果たす。北海道情報大学メディア学科准教授。

監督をはじめ出演者、スタッフが登場。
プログラムの詳細はCLARK THEATER 2010 HPへ!
http://www.clarktheater.jp/

●長編作品

『禁じられた遊び』

監督　ルネ・クレマン
製作　ポール・ショジ
主演　ブリジット・フォッセー、ジョルジュ・プージェリー
87min/1952/フランス

戦争により両親を亡くした少女ポレットは、郊外に住むシェルという少年に出会い、彼の家に身を寄せることになる。やがて、ポレットの死んだ愛犬を埋めて十字架を立てたことをきっかけに、2人は動物の墓を作って遊ぶようになる。だがその遊びは少しずつエスカレートしていき…。「死」の概念をまだ理解できない幼い少女と、彼女に淡い恋心を抱く少年。2人の行う無邪気な墓遊びを通して、大人の起こす戦争行為を静かに批判した、ルネ・クレマン監督による不朽の名作。

『Elephant』

監督　ガス・ヴァン・サント
制作総指揮　ダイアン・キートン
プロデューサー　ダニー・ウルフ
出演　ジョン・ロビンソン、アレックス・ロコスト、エリック・デューレンほか
81min/2003/アメリカ
カンヌ映画祭パルムドール賞受賞・監督賞受賞

※本作品はR-15に指定されております。

澄み切った秋の空。鳥のさえずりが聞こえ、校庭ではアメフトの練習で走り回る高校生たちの声が響く。授業、図書室、カフェテリア、クラブ活動、噂話。いつもの平凡ー日。高校生活はある者にとって刺激的で楽しく、またある者にとっては孤独で残酷なものだ。その日も、平和な一日になるはずだったが…

『ライブテープ』

監督　松江哲明　撮影　近藤龍人　録音　山本タカアキ
出演　前野健太、DAVID BOWIEたち、長澤つぐみ
74min/2009/日本
第22回東京国際映画祭日本映画・ある視点部門作品賞受賞
ドイツ・ニッポンコネクション"ニッポンデジタルアワード"受賞

2009年・元旦。東京・吉祥寺。ギターをかき鳴らし唄うミュージシャン・前野健太。巨大なステージと化した街を縦断し、時に戸惑いながら、時に猛々しく咆哮し、張りつめた緊張感と街の音に溶け合う16の歌。かけがえのない時間、当たり前に奇跡的な情景を74分1カットで切り取った前代未聞のライブドキュメント。「生きていかなきゃね――。」映画ファン、音楽ファンはもちろん、否応無しに毎日を生きるすべての人たちに送る、究極の音楽映画がここに誕生!

●短編アニメーション・プログラム

個性豊かな海外アニメーションの名作たち。

「マクラレン開会の辞」

監督　ノーマン・マクラレン
7min/1961/カナダ

映画祭の開会式で、マイクロホンの前に立ったマクラレン監督はポケットからメモを取り出しスピーチを始める。最初の一言を発しようとすると、マイクがソッポを向いてしまう。どうしても話したいマクラレンとマイクロホンの、あくなき戦い。

『色彩幻想ー過去のつまらぬ気がかり』

監督　ノーマン・マクラレン　音楽　オスカーピーターソン
8min/1949/カナダ
ベルリン国際映画祭銀熊賞受賞　カナダ映画賞特別賞受賞

ジャズ演奏の流麗なメロディーラインを色彩豊かに視覚化した作品。刻一刻と変化する色彩と音楽に合わせて瞬時にその姿を変化させていく線のイメージが、具象と抽象の境界線を行き来する。

『バ・ド・ドゥ』

監督　ノーマン・マクラレン　音楽　モーリス・ブラックバーン
14min/1968/カナダ
英国テレビ映画芸術アカデミー最優秀アニメーション作品賞受賞　メルボルン国際映画祭グランプリ受賞　ブノンペン国際映画祭最優秀短編映画賞受賞　カナダ映画賞特別賞受賞

完全な暗闇の中で、白いレスを着たバレエダンサー達の輪郭が浮き立ち、流れてゆく。バレエの優雅さとマクラレンの芸術的技巧が調和した作品。

『隣人』

監督　ノーマン・マクラレン
8min/1952/カナダ
アカデミー賞短編部門最優秀ドキュメンタリー賞受賞　カナダ映画賞特別賞受賞

仲良く暮らしてきた隣同士の2人の男が、両者の家の境に生えてきた1本の花をめぐり次第に争いを始める。争いはどんどんエスカレートしていくが、再び平和は訪れるのか…。

『鉛の兵隊』

監督　レフ・ミリチン　原作　H.C.アンデルセン「鉛の兵隊」
20min/1970/ロシア

片足しかない鉛の兵隊と美しいバレリーナ。いつしか惹かれあっていく二人ですが、煙草入れに住む魔法使いが鉛の兵隊にいじわるをして…。二人の切ない恋物語。

『春のめざめ』

監督・脚本　アレクサンドル・ペトロフ
27min/2006/ロシア
平成18年度(第10回)文化庁メディア芸術祭アニメーション部門 優秀賞受賞
第11回 広島国際アニメーションフェスティバル観客賞/国際審査員特別賞受賞

19世紀末ロシア。16歳の少年アントンは、初恋の甘い興奮に翻弄されながら二人の女性の間を揺れ動く…。甘く残酷な思春期の物語を、動く油絵のような美しい映像で描いた作品。

●桃まつりpresents"うそ"

めくるめく"うそ"の饗宴が北海道初上映!

「若手女性監督たちにもっと上映の場を!」と立ち上がった女性監督による制作・上映集団"桃まつり"。昨年3月東京での上映では、2週間で1,500人以上の動員を記録。新たな才能の発見の場として、日本全国のみならず海外の映画祭からも注目を集めている。
今年のテーマは"うそ"。あなたを思うあまりのうそ、したたかに仕組まれたうそなど、様々な人間関係を描き出した新作短編11本を上映。とびきり甘くて切ない"うそ"のまつりがいよいよ開催!

壱のうそ 10.31sun 19:30～21:15

『　迷　い　家　』監督・脚本　竹本直美　20min/日本

『バーブの点滅と』監督・脚本・編集　増田佑可　25min/日本

恋人同士の深酒(たにすけ)と庭子(にわこ)はごく普通の平凡な生活を送っていた。ある日、庭子は部屋の掃除中に掃除機のホースに身体が吸い込まれてしまう。体の側まで掃除機と一体化し、蛇女の様な姿になった庭子。徐々に体が無くなっていく恐怖に怯えつつ、ながら深酒との生活にしがみつく。庭子の死の匂いを感じ、公園で踊る女に逃げ場を求めながら深酒もまた、それでも無理矢理生活を送ろうとするのだった。

『　shoelace　』脚本・監督・編集・音楽　福本明日香　26min/日本

『テクニカラー』監督・脚本・編集　船曳真珠　30min/日本

弐のうそ 11.1mon 18:30～19:50

『きみをよんでるよ』監督・脚本・編集　朝倉加葉子　26min/日本

『　FALLING　』監督・脚本　加藤麻矢　26min/日本

主人公アベコは無意識に夜な夜な街を彷徨っている。星間会社でもミスばかりして負債いアベコを心配そうに見守る同僚のいずみ。だがアベコは悪巧みばかりしている梨花の言いなりになっている。梨花のことが好きなのだ、ずっといずみ。そんな中、金を奪う為に梨花とアベコはカップルを装う。ますます刺されて死ぬアベコ。しかし、ヴァンパイアとして復活する…。

『愚か者は誰だ』監督・脚本　渡辺裕子　28min/日本

参のうそ 11.2tue 15:15～17:00

『　1-2-3-4　』脚本・監督　玉城陽子　25min/日本

『代理人会議』脚本・監督　石毛麻梨子、大木蔚　25min/日本

『カノジョは大丈夫』監督・脚本・編集　安川有果　32min/日本

『　離さないで　』脚本・監督・編集　福井早野香　26min/日本

「これを小説にしてください」―スランプの小説家・未知子に一通の手紙が届く。事故死したはずの親友を恋人・高雄が殺していたという内容だった。しかも、先輩・亮子も共犯として、黙ってそれを小説に書き始める未知子に、高雄は迫いつめられて行く。告白も出来なかった過去、仲間はずれの自分、「何も知らない」ことが未知子の欲望を掻きたてる。

●SAPPORO de SHORT

もっと札幌が好きになる、札幌出身・在住監督特集!

『hero』

監督・脚本　片岡翔
2.40min/2008/日本

浜辺に届いたボトル。そこには悲痛な手紙が入っていた。

『28』

監督・脚本　片岡翔
6.13min/2008/日本
ショートショートフィルムフェスティバル&アジア 2009
STOP!温暖化部門観客賞

足音殺し、息殺し、叫びも殺しにやってくる。

『Mr. Bubblegum』

監督・脚本　片岡翔
13min/2009/日本
ショートショートフィルムフェスティバル&アジア 2010
ジャパン部門観客賞

公園で遺書を書いている宇佐美は、ボエムクラブの女子高生、ヒノコから遺書のダメ出しを受ける。二人のステキな遺書作りが始まる♪

『くらげくん』

監督・脚本　片岡翔
14min/2009/日本
第32回びあフィルムフェスティバル準グランプリ　熊谷国際短編映画祭2010グランプリ　第19回東京国際レスピアン&ゲイ映画祭グランプリ
ひめじ国際短編映画祭2010監督賞

くらげくんは、ぼくのともだち。くらげくんは、ぼくのことが好き。くらげくんも、ぼくも、男の子なのに。

『ナゲイレ』

監督　黒田拓
24.30min/2008/日本

生け花に端を発する日本最古のスポーツ「ナゲイレ」を紹介していく、うそドキュメンタリー。

『ムーブメント』

監督　横須賀令子
4.20min/2003/日本
札幌国際短編映画祭2009フィルムメーカー部門グランプリ

点、線、文字、顔、仮面、図形…　筆の軌跡はとどまらず、次々と黒と白の世界を描いていく。

『クレーターのなる木』

監督　横須賀令子
3.26min/1987/日本
札幌国際短編映画祭2009フィルムメーカー部門グランプリ

笛の中から不思議な生き物達が現れる。そして笛の音に合わせて踊る彼らと笛吹きの行進がはじまる。

『GAKI 琵琶法師』

監督　横須賀令子
6min/2005/日本
札幌国際短編映画祭2009フィルムメーカー部門グランプリ

鼓鬼が演奏をはじめると、周囲が変化し別な世界が広がってくる。音楽は風になり波になる。鼓鬼はその音の波と一体化していく…。

『センコロール』

監督　宇木敦哉
30min/2009/日本
札幌国際短編映画祭2009最優秀北海道作品賞

平和な町に出現したモンスター。謎の少年がモンスターを操り戦闘勃発!すべて手書きによるアニメーション作品。